

# 目次

巻頭言——最後まで残る仕事……………青木和夫…………… i

一九八五年出土の木簡…………… 1

概要	東野治之	1		
凡例	4			
奈良・平城宮・京跡	橋本義則	7	京都・伏見城跡	原山充志
奈良・平城京左京三条六坊七坪	東潮	13	京都・鳥羽離宮跡	磯部勝・鈴木久男
奈良・平城京右京七条一坊十五坪	中井公	15	京都・平安京右京八条二坊五町	吉村正親
京都・長岡京跡(1)	清水みき	16	京都・西ノ辻遺跡	西口陽一
京都・長岡京跡(2)	上村和直	21	大阪・観音寺遺跡	高橋雅子
京都・長岡京跡(3)	吉崎伸	22	大阪・犬飼堂廃寺	近藤利由
京都・平安京左京三条三坊十一町	寺島孝一	24	大阪・穂積遺跡	田上雅則
京都・平安京左京六条一坊八町	平尾政幸	25	兵庫・玉津田中遺跡	山本三郎
京都・平安京左京九条三坊十四町	小森俊寛	26	兵庫・辻井遺跡	山本博利・秋枝芳
京都・平安京右京八条二坊二町	辻裕司	27	兵庫・長尾沖田遺跡	大平茂
			兵庫・但馬国府推定地	吉識雅仁
			愛知・朝日西遺跡	佐藤公保

愛知・大湊遺跡	宮腰健司	山形・俵田遺跡	佐藤庄一
愛知・沓掛城跡	木村光一	秋田・秋田城跡	日野久
静岡・勝間田城跡	及川司	福井・九十九橋	清田善樹
静岡・神明原・元宮川遺跡	栗野克己	福井・一乗谷朝倉氏遺跡	佐藤圭
神奈川・今小路周辺遺跡	河野真知郎	石川・三木だいもん遺跡	小森秀三
神奈川・鶴岡八幡宮境内研修道場用地遺跡	齊木秀雄	富山・弓庄城跡	高慶孝
茨城・鹿島湖岸北部条里遺跡	田口崇	新潟・番場遺跡	坂井秀弥
滋賀・西河原森ノ内遺跡	德網克己・山田謙吾	新潟・小島西遺跡	伊藤敦
滋賀・勸学院遺跡	仲川靖	島根・富田城跡	鳥谷芳雄
滋賀・金剛寺城跡	近藤滋	広島・草戸千軒町遺跡	下津間康夫
滋賀・柿堂遺跡	山本一博	広島・尾道遺跡	森重彰文
栃木・法界寺跡	前沢輝政	和歌山・秋月遺跡	片山和哉
宮城・今泉城跡	佐藤洋	福岡・大宰府跡	山本高照
宮城・富沢水田遺跡	渡部弘美	福岡・大宰府条坊跡	倉住靖彦
岩手・中尊寺伝三重池跡	荒木伸介	福岡・豊前国府跡	山本信夫
岩手・胆沢城跡	佐久間賢	福岡・如法寺遺跡	石松好雄
青森・浪岡城跡	木村浩一		重松敏美

一九七七年以前出土の木簡(八)

奈良・平城宮跡(第一四次)

鬼頭清明 105

奈良・平城宮跡(第二五次)

鬼頭清明 106

奈良・平城宮跡	鬼頭清明	106	奈良・平城宮跡(第四三次)	鬼頭清明	114
奈良・平城宮跡(第四〇次)	鬼頭清明	107	奈良・唐招提寺講堂地下遺構	和田萃	116
奈良・平城宮跡(第四一次)	加藤優	108			
中国簡牘研究の新動向	李学勤	123			
中国簡牘研究の新しい動向	李学勤	128			
	訳・菅谷文則				
倉札・札家考	原秀三郎	135			
柚井遺跡出土木簡の再検討	栄原永遠男	151			
出土の文字資料からみた中世民衆生活の一面——草戸千軒町遺跡を中心に——	志田原重人	163			